

東日本 APM ニュース

ASSOCIATION OF PLASTICS MOLDERS, EAST JAPAN

第555号 2025. 8/4

一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会
東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル TEL 03(3541)4321
URL: <http://www.ejp.or.jp> FAX 03(3541)4324
発行人 笹岡 健治

目次

一般社団法人 工業製品製造技能人材機構の
発足について…………… 1
全日本プラスチック製品工業連合会
通常総会が開催されました…………… 2

事務局レポート…………… 3
バイオプラスチック (その2) …… 6
暑中広告…………… 7

一般社団法人 工業製品製造技能 人材機構の発足について

「一般社団法人 工業製品製造技能人材機構 (以下、JAİM)」は、2025年6月25日、特定技能外国人の適正かつ円滑な受入れ推進を担う特定技能外国人受入事業実施法人として登録され、6月30日に武藤容治経済産業大臣より登録書が手交されました。

【JAİM 設立の背景】

2024年3月の閣議決定により、製造業分野における1号特定技能外国人の受入れ見込数が49,750人から173,300人(約3.5倍)へと大幅に増加され、対象となる業務区分が3区分から10区分へと拡大されました。これに伴い、今後より多くの外国人が製造業分野で活躍することが見込まれており、一層の運営体制の拡充と製造現場のニーズに沿った対応の両方が不可欠となっていました。

本課題に対応すべく、本制度の受入産業の業界団体や受入事業所が主体的に関わる形で、適正か

つ円滑な受入れの更なる推進に対応する民間団体として、JAİM が新たに設立されました。

6月25日に特定技能外国人受入事業実施法人として経済産業大臣登録を受けたことから、今後、工業製品製造業分野における全ての特定技能外国人受入事業所がJAİMに加入することになります。

【ロゴマーク】



全日本プラスチック製品工業連合会としても、JAİM に理事として参画し、特定技能外国人受入事業に協力してまいります。

全日本プラスチック製品工業連合会 通常総会が開催されました

令和7年6月12日（木）名古屋東急ホテル（愛知県名古屋市）において全日本プラスチック製品工業連合会の第64回通常総会が開催されました。

通常総会は、児玉康彦副会長の開会挨拶で始まり、定足数報告、議長選出、議事録署名人名指名の後、以下の議事が行われました。

『第1号議案 令和6年度 事業報告承認の件』

専務理事から議案書1～11ページまで、事業経過について説明と報告をした。

特に、事業としては、①経産省素材産業課と情報交換を密にし、業界のニーズを伝え、人手不足の解消に向けて、かねてから大きな課題であった特定技能の対象分野へのプラスチック製品製造業の追加が令和6年9月30日付の告示改正により認められることとなった。②技能検定推進委員会では、技能検定事業の推進を行うなかで中央職業能力開発協会へ検定試験問題作成委員の派遣協力を行い、全国各地の成形団体と情報や意見の交換を実施、実技試験の円滑な取り組みに協力した。③当連合会の60周年を記念し、ホームページに「創立60周年記念特設ページ」を開設した。その他は、議案書に沿って各事業の個別内容について概略を説明した。

第2号議案 令和6年度 決算報告承認の件

引続き専務理事より、令和6年度決算について、連合会本体の会費収入と成形品販売の事業収入がある推進委員会を合算した財産目録、貸借対照表及び収支計算書について説明、年間総収入18,033,778円、総支出18,244,408円となり、本年度の当期収支差額▲210,630円となった旨 概略を説明した。また、連合会全体に係る共通費用を推進委員会の費用として按分することを説明した。

議長は、第1号議案・第2号議案につき、一括して議場に諮り、異議なく承認された。

第3号議案 令和6年度 収支差額処分方法（案）

専務理事から、当期収支差額と前期繰越金額を合わせた3,406,382円を全額、次期に繰越したい旨提案した。

議長より、本議案を議場に諮り満場一致で承認された。

第4号議案 令和7年度 事業計画（案）

「日本経済は、企業の賃上げが加速しつつあり、国内投資も30年ぶりの高い水準になるなど変化の

兆しが見られます。一方で中小企業・小規模事業者を取り巻く状況は、物価高や人手不足といった数多くの課題に直面しています。

世界では、保護主義の台頭やウクライナ侵攻の長期化等による地政学リスクの高まり、AI等の技術革新の加速化、気候変動をはじめとする環境対策、米国トランプ大統領による通商政策の行方など不確定要素が多くなっています。

2025年は、環境対策が一層加速する事が予想されます。各国での規制強化や新たな基準の導入が進む中、より高い環境基準に適合するための解決が急務です。DXの進歩も、業界のサプライチェーン全体に変革をもたらしており、プラスチック製品の設計段階から廃棄・再利用のプロセスまで、より効率的で環境負荷の少ない形態が求められていくと思われれます。

当連合会は会員団体の情報交換と親睦を図り、諸問題の解決についての業界の公正な意見、意向を関係先に具申し、広く業界の知識・経験を活用して、業界の振興を目指します。特に技能の向上と人材育成等を図るため、以下の事業を推進し、連合会の設立目的の実現に向けて努力してまいります。」

第5号議案 令和7年度 収支予算（案）

予算案については、合計収入18,210千円に対し、支出の方は18,602千円で、収支は△392千円を見込む。前期繰越3,406千円より、次期繰越差額は3,014千円となる予算を組んでいる。収入は固めで、支出は多めの予算を組んでいるが、執行は入を増やし、出を押さえて、前期同様にマイナス幅の圧縮に努めたい旨説明した。また、事務委託費について連合会本体と推進委員会で折半することを説明した。

議長は、第4号議案・第5号議案につき、一括して議場に諮ったところ、特に異議なく了承された。

第6号議案 会則の一部変更の件

「3. 理事会の議決は、理事の総数の過半が出席し、出席理事の過半数でこれを決する。」

議長より、第6号議案を議場に諮り満場一致で承認された。

第7号議案 令和7年度役員選任の件

議長より、第7号議案について議場に諮ったと

ころ、満場一致で承認された。

以上、全ての議案が終了し、議長は16時30分に本総会を閉会した。』

通常総会ですべての議案が承認されたのち、経済産業省素材産業課の岸田学課長補佐にご参加いただき、講習会と意見交換会を実施しました。岸田課長補佐からは、「特定技能制度・育成就労制度におけるプラスチック成形の状況等について」のタイトルで、現在の検討状況についてご説明い

いただきました。また、米国の関税措置に関する総合対策本部についてもご説明がありました。

その後の懇親会では、児玉康彦副会長（中部日本協会会長）からのご挨拶の後、ご来賓として参加いただいた経済産業省素材産業課の岸田課長補佐にご祝辞をいただきました。

ご挨拶の後、住田嘉久副会長（東日本協会会長）の発声で祝宴が開始されました。最後は岩崎能久副会長（西日本協会会長）の中締めで懇親会を終了しました。



児玉副会長挨拶



岸田補佐ご祝辞



住田副会長乾杯



岩崎副会長中締め

事務局レポート

1. 第419回 理事会議事録

1. 日時 令和7年7月17日（木）
17時00分～17時45分

2. 場所 日比谷パレス
東京都千代田区日比谷公園1-6

3. 出席者

大野 泰昭	住田 嘉久	上村 俊彦
肥後 武展	山下慎一郎	原田 裕司
村口 公浩	嶋田 修二	石川 忠彦
伊藤 宏使	曾我部 大	植田 好司
小菅恵美子	佐藤 昭	平田 照雅
内山 三男	長谷川矩之	笹岡 健治

以上出席理事18名（理事総数32名）
野邊弘一郎 以上監事1名

4. 住田会長ご挨拶

本日はお忙しいところ、第419回理事会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

さて、皆様ご承知のとおり、米国トランプ大統領は、日本からのすべての輸入品に対して25%の追加関税を課す方針を正式に通告いたしました。この措置は「相互関税」制度に基づき、日本の関税および非関税障壁による貿易不均衡の是正を目的とするものです。自動車、鉄鋼、アルミなど既存の品目別関税とは別枠での課税となる予定であり、プラスチック製品・部品も対象となる可能性が高いことから、米国向け輸出におけるコスト増が懸念されます。また、第三国経由の迂回輸出も対象となり、原産地規則の厳格化が予想されます。米国内での生産に切り替えた場合は関税免除とされていますが、中小企業にとって即時対応は困難であるのが現状です。

日本政府は現在も交渉を継続しておりますが、8月1日の発動は既定路線との見方が強く、仮に

日本側が報復関税を講じた場合、米国側はさらなる関税率の引き上げを示唆しています。

加えて、当会会員企業が多く関わっている日産自動車は、神奈川県横須賀市の追浜工場での車両生産を2027年度末に終了すると発表いたしました。同工場は「技術の日産」を象徴するマザー工場であり、累計1780万台以上を生産してきた歴史的拠点です。この閉鎖は、国内製造業の構造変化を象徴するものであり、業界全体への影響が懸念されます。

こうした状況を踏まえ、業界団体としての政策提言や情報共有の強化がますます重要になってまいります。

なかなか明るい話題が少ない中ではございますが、本日は理事会終了後に納涼会を開催いたします。

貴重な情報交換の場として、ぜひ積極的にご活用いただければ幸いです。

最後になりますが、本日も円滑な進行にご協力いただきますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

5. 専務理事より定数の報告

事務局より理事数32名のうち出席理事は18名であり、定款第33条の規程により過半数の理事の出席があり、本理事会が有効に成立している旨の報告がなされた。

6. 議長選出

定款第30条の規程により会長が議長に選出された。

7. 議事録署名人

議長は、定款第34条により、同人と出席の野邊監事に記名捺印をお願いし、了承された。

8. 議 事

議題1. 経過報告（前回理事会以降の主要行事）

(1) 役員会等の開催

- | | | |
|-------|----------|-------|
| 5月15日 | 第57回通常総会 | 上野精養軒 |
| 5月15日 | 第418回理事会 | 上野精養軒 |

(2) 部会・委員会の開催

①技能検定運営委員会

- | | | |
|------|----------------|-------------|
| 6月3日 | 前期技能検定首席・事務局会議 | 東京都職業能力開発協会 |
|------|----------------|-------------|

- | | | |
|-------|--------|-----|
| 6月13日 | 水準調整会議 | 板橋校 |
|-------|--------|-----|

- | | | |
|-------|---------|-----|
| 6月14日 | 実技試験説明会 | 板橋校 |
|-------|---------|-----|

- | | | |
|------|-------|-----|
| 6月8日 | 金型トライ | 板橋校 |
|------|-------|-----|

②能力開発推進委員会

- | | | |
|------------|--|--|
| 6月21日, 22日 | | |
|------------|--|--|

技能検定学科試験受験用対策講座
板橋校

6月21, 22, 28, 29日 7月5, 6, 12, 13日

技能向上講座「射出成形樹脂替えと成形不良対策」
板橋校

③製品技術部会

5月8日 通常総会 東プラ健保会館

④青年経営研究会（JPO）

6月20日 JPO 役員会
協会事務所・のどぐろ中俣

⑤ APM 会

7月9日 第195回 APM 会
アスレチックガーデンゴルフ倶楽部

(3) 支部会等の開催

5月15日 群馬県プラ工業振興協会総会
メトロポリタン高崎

5月28日 長野県プラ工業会総会
ホテル信濃路

6月6日 新潟県プラスチック工業振興会
創立60周年記念式典・祝賀会
燕三条ワシントンホテル

6月17日 埼玉県プラ振興会総会 埼玉会館

6月18日 江南支部会（合併後初）
銀座アスター松屋銀座店

7月1日 墨東支部会 TERZO 3

(4) 全日本プラ連合会

5月21日 技能検定推進委員会情報交換会
新大阪ワシントンホテルプラザ

5月23日 中部日本協会第54回通常総会
名古屋東急ホテル

5月28日 西日本協会第57回定時総会
シティプラザ大阪

6月12日 全日本プラ連合会第64回通常総会
名古屋東急ホテル

6月13日 3地区協会親睦コンペ
スプリングフィールドゴルフクラブ

6月24日 中央職業能力開発協会第75回理事会・第46回通常総会
TKP 赤坂カンファレンスセンター

6月30日 JAIME 登録書手交式及び発足式

以上議題1について諮ったところ特に異議なく

了承された。

議題2. 会員の入会・退会承認の件

(1) 入会の部

正会員	2社
会社名	東工産業株式会社
所在地	東京都千代田区岩本町2-12-7

代表者 熊野 聖子
取扱製品 自動車部品、建築資材、食品
関連、電気機器関連の4分野

会社名 エルフ株式会社
所在地 神奈川県川崎市中原区木月住
吉町21-7

代表者 判治 倫泰
取扱製品 プラスチックネジ・パーツ
(ボルト、ナット等)、金型製作

賛助会員 1社
会社名 エヌ・エス・エス株式会社
所在地 長野県飯田市三日市場940番
地1
代表者 胡桃澤 知秀
業種 省力化機器の開発設計及び製
造(ものづくりの省力化)

(2) 退会の部
正会員 1社
会社名 (株)日新工業製作所
退会理由 会社都合

賛助会員 1社
会社名 コニシ(株)
退会理由 会社都合

(3) 会員の増減

	正会員	賛助会員	計	団体会員
前回	158社	72社	230社	7団体
増加	2社	1社	3社	0
減少	1社	1社	2社	0
現在	159社	72社	231社	7団体

以上議題2について諮ったところ特に異議なく了承された。

議題3. 「プラスチック成形加工研究会」の開催 について

以上議題3について諮ったところ特に異議なく了承された。

【その他報告事項】

以下の項目につき専務理事から説明を行った。

- ①景況感アンケート結果について(速報版)
- ②JAIM((一社)工業製品製造技能人材機構)発足式について
- ③下請代金支払遅延等防止法に基づく取組
- ④価格交渉に役立つ支援ツール(埼玉県、中小企業庁)

⑤職場における熱中症対策(労働安全衛生規則の改正)

⑥今後の理事会等日程(案)について

⑦西プラ万博展示(8/19~25、大阪ヘルスケアパビリオン)

⑧日精樹脂成形機の件

2. 納涼会の開催

7月17日理事会終了後、恒例の納涼会を開催しました。今年の総会では退任された理事はいないため、感謝状贈呈イベントはなく、住田会長からのご挨拶、肥後副会長の乾杯の発声で納涼会が始まり、参加者が情報交換と懇親を深め、山下副会長の中締めによりお開きとなりました。

3. 第195回 APM 会コンペの開催

令和7年7月9日(水)茨城県のアスレチックガーデンゴルフクラブにおいて、当協会のゴルフ親睦会であるAPM会の今年度第2回目のコンペが開催されました。優勝は金田芳洋様(株スカイ)、準優勝は野邊弘一郎様(エンゼル産業(株))、3位は瀧澤岳明様(株ニッケン)でした。暑い日でしたが17名の会員にご参加いただき楽しい1日を過ごしました。次回196回は11月26日(水)茨城県の「金乃台カントリークラブ」で開催いたします。APM会会員には改めてご連絡いたしますが、新たに参加したい方は事務局までご連絡ください。

4. JPO(青年経営研究会)大阪・関西万博視察、参加者募集

国際博覧会(万博)が日本で開催されるのは20年ぶりとなる事から、見聞を広めるため、「EXPO2025大阪・関西万博」視察を企画いたしました。JPOの会員、並びにJPO入会を検討されている方の参加をお待ちしております。

視察日:2025年9月19日(金)

視察先:EXPO2025大阪・関西万博

集合場所・時間:「新大阪」駅11時30分

行程:バスで万博会場へ移動し、団体予約した

パビリオンを見学。その後、自由見学。

夕方に再集合し、バスでホテルへ移動。

ホテル近辺で懇親会。翌日、解散。

宿泊先:東横INN大阪なんば(シングルルーム)

定員:15名(申込先着順)

参加費用:¥10,000

※新大阪までの往復交通費をご負担下さい。

※宿泊費と万博チケット、懇親会費はJPOでお支払い致します。

申込締切:2025年8月19日(火)

バイオプラスチック（その2） —非生分解性バイオマスプラスチック

日本バイオマスプラスチック協会の認定基準ではバイオマス含有率が25wt%以上のものをバイオマスプラスチックとしている。バイオマスプラスチックには非生分解性と生分解性があるが、本号では非生分解性バイオマスプラスチックについて述べる。

バイオマスプラスチックは植物などの再生可能有機資源（バイオマス）から作られたプラスチックである。植物は二酸化炭素（CO₂）と水から光合成されるので、廃棄段階でCO₂を排出してもトータルではCO₂は増加しない。このことをカーボンニュートラルと称している。

バイオマスPE（以下バイオPEという）を例にカーボンニュートラルについて説明する。

図1¹⁾はバイオPEの製造工程の概略である。

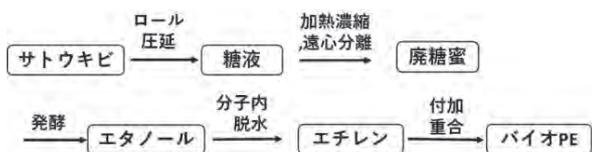


図1 バイオPEの製造工程

サトウキビなどからの糖蜜を発酵させたエタノールを経てエチレンを作り、重合してバイオPEを得る。バイオPEは石油由来の高密度PE（PE-HD）と同等の物性である。図2¹⁾は石油由来PE-HDとバイオPE-HDの1kg当たりのCO₂排出量比較である。この値は製造工程で排出するCO₂以外のメタンや亜酸化窒素を含めてCO₂量に換算した値である。

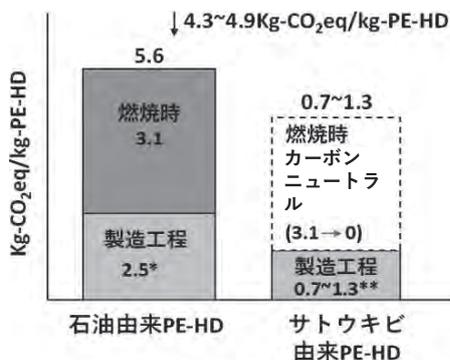


図2 ID1 kg 当たりの温室効果ガス負荷 (*Plastics Europe, **Braskem 社試算)

石油由来PE-HDの排出量は製造工程では2.5 kg、燃焼時では3.1 kgであり、合計すると5.6 kgとなる。バイオPE-HDの製造工程ではエネルギー消費が少ないため0.7~1.3 kgである。また、燃焼時に発生するCO₂発生量3.1 kgは生育過程における吸収量と同じであるので、CO₂収支はゼロと見なすことができる。従って、両プラスチックの差は4.3~4.9 kgとなり地球温室効果ガスを約80%削減できる。

その他の非分解性バイオマスプラスチックには次の種類がある。

バイオPPは植物由来のプロピレンを重合して作られる。まだ、開発段階ではあるが、将来自動車用途への展開が期待されている。

バイオPAで代表的なものはPA11である。PA11はひまし油から得られる11-アミノウンデシレン酸を重合して作られる。特徴はPA6,PA66に比較して比重が小さい、吸水率が低い、耐衝撃性や耐薬品性が優れる、柔軟性があるなどである。自動車部品、スポーツ部品などに使用されている。

バイオPTTはサトウキビ由来の1,3プロパンジオールと石油由来のテレフタル酸を重合して作られる。PBTとPETの中間的物性を有しており射出成形品（高密度コネクタ、ケース、ハウジング）、繊維（カーペット、アパレル）などに使用されている。

バイオPETはサトウキビなどからのエチレングリコールと石油由来のテレフタル酸から作られる。石油由来PETと同等の物性を有するのでPETボトルなどに使用されている。

バイオPCは糖、でんぷんなどから得られるイソソルバイドと石油由来のビスフェノールAを共重合したものである。透明性、耐衝撃性などは石油由来PCと同等であり、耐候性や耐擦傷性は石油由来PCより優れている。これらの特性を活かして自動車の内・外装部品に使用されている。

（案山子）

引用文献

1)石橋 智 プラスチックス、60(10),p.66,日本工業出版(2024)



自社工場で磨いたノウハウで 製造DXを実現



ムラテックの生産管理システム

成形工場の基幹業務をWebシステムに集約
成形業のすべてを一元管理して業務改革を推進

成形業統合生産管理システム

GMICS[®]

成形に最適な
マスタ

多段階
部品構成
管理

MRP/製番
ハイブリッド
方式

EDIデータ
取込み

内外多工程
管理

多拠点
在庫管理

ロット
トレース

資材管理
システム

成形工場にひそむムダ・ムラを「見える化」し
最適な成形環境を構築

成形工場現場管理システム

MICS7

最適な
計画立案

リアル
タイム
稼働監視

成形機
メーカー
不問

実績
データ
ベース化

日次更新
在庫管理

金型
メンテナンス

ムラテックは、西日本プラスチック製品工業協会および近畿経済産業局と協同で、成形機のデータフォーマットを共通化しデータを統合するシステム「Middleware(ミドルウェア)」を開発しました。「Middleware」と弊社製品とのデータ連携強化の取組みを通じて、プラスチック成形業におけるIoT導入推進に取り組んでまいります。

村田機械株式会社
ムラテックフロンティア株式会社

<https://www.muratec.jp/fs/>

ファクトリーソリューション営業部

- 東日本支店 / 埼玉県さいたま市大宮区宮町4丁目85-1 〒330-0802
TEL 048(649)6139 FAX 048(647)9446
- 中部支店 / 愛知県犬山市橋爪中島2 〒484-8502
TEL 0568(63)2311 FAX 0568(63)5779
- 西日本支店 / 京都市伏見区竹田向代町136 〒612-8686
TEL 075(672)8257 FAX 075(672)8390

令和七年

暑中お見舞い申し上げます



暑さ厳しい折柄
皆様のご健勝を
お祈り申し上げます

旭モールディング株式会社
代表取締役
福田晴通

〒116-0012 東京都荒川区東尾久五-1-21-1
電話 〇三(五八五五)三五六〇

浅間合成株式会社
代表取締役社長
嶋田修二
代表取締役専務
嶋田龍馬

本社工場 〒401-0301
山梨県南都留郡富士河口湖町船津6081-1
TEL (0555)73-2831
FAX (0555)73-2832
http://www.asama-gosei.jp/
P-E-mail:shimach@poplar.ocn.ne.jp

Intertek ISO9001:2015 認証取得

明日の情報システムを想像する ASCOT
株式会社 アスコット
代表取締役社長
吉村紳一

本社 〒540-0021 大阪市中央区大手通1-4-10 大手町フタバビル6F
TEL (06)6944-9211 FAX (06)6944-3233
東京支店 〒110-0016 東京都台東区台東4-27-5 秀和御徒町ビル5F
TEL (03)6870-2250 FAX (03)6870-2253

株式会社荒川樹脂
代表取締役
千代田貢一

〒116-0002 東京都荒川区荒川五-1-39-1-2
電話 〇三(三八九二)五七二二(代)

株式会社イガフシコーカ
代表取締役社長
秋野勝彦

本社 〒216-0002 神奈川県川崎市宮前区南野川1-3-1
電話 〇四四(九二〇)八二三〇

株式会社石黒製作所
代表取締役社長
大野泰昭

〒136-0074 東京都江東区東砂6-2-9
TEL 03-5665-7711 FAX 03-5665-7712
URL: http://www.pla-part.com/

株式会社植田電器製作所
代表取締役
植田好司

本社 〒114-0012 東京都北区田端新町2-28-13
電話 03(3893)3376
白岡工場 〒349-0203 埼玉県白岡市下大崎871
電話 0480(92)8484

エンゼル産業株式会社
代表取締役社長
野邊弘一郎

本社 〒132-0024 東京都江東区森下1-1-1 多摩館2F
電話 〇三(五八七九)三二二七
FAX 〇三(五八七九)三二七四

株式会社エンプラス
代表取締役社長
横田大輔

〒532-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号
電話 048(253)3131(代)
https://www.enplas.co.jp

<p>CSK</p> <p>代表取締役社長 原田裕司</p> <p>大塚産業株式会社</p> <p>〒100-0005 東京都墨田区東駒形一丁目八番一 電話 〇三(三三六)五五六五(代) FAX 〇三(三三六)五六一六</p>	<p>かみむら化学株式会社 KAMIMURA CHEMICAL Co., Ltd.</p> <p>代表取締役社長 上村俊彦</p> <p>URL: http://kamimura-kagaku.com 〒125-0041 東京都葛飾区東金町5-15-2 Tel 03-3600-1313 Fax 03-3600-1315 本社工場 〒340-0822 埼玉県八潮市大瀬5-8-1 Tel 048-996-9401 Fax 048-995-3009</p>	<p>KAWATA</p> <p>先進技術とトータルシステムで貢献</p> <p>株式会社 カワタ</p> <p>代表取締役社長 白石 互</p> <p>〒104-0033 東京都中央区新川1-2-10 新川むさしやビル4階 TEL 03-3523-5680 FAX 03-3523-5682</p>
<p>離型剤・防錆剤・潤滑剤・洗浄剤の製造販売</p> <p>KOBEGOSEI</p> <p>神戸合成株式会社</p> <p>代表取締役社長 宮岡 督修</p> <p>本社: 兵庫県小野市匠台10番地 TEL: (0794) 64-7771(代) FAX: (0794) 64-7772 URL: http://www.kobe-gosei.co.jp</p> <p>BIG FORCE</p>	<p>株式会社 SG サトーコーセー</p> <p>昭太 佐藤 亮</p> <p>代表取締役 佐藤 亮</p> <p>本社 〒174-0074 東京都板橋区東新町1-17-1 Tel: 03-3955-4066 Fax: 03-3959-5481 東松山 〒355-0071 埼玉県東松山市大字新郷70-1 鶴岡 〒997-0011 山形県鶴岡市宝田1-10-51</p>	<p>SK 株式会社 三光社</p> <p>代表取締役社長 平塚 隆文</p> <p>本社 〒131-0022 東京都台東区柳橋一丁目九番一 電話 〇三(三三六)三二五九(代) FAX 〇三(三三六)三二五七</p>
<p>SANGEI BLESSON</p> <p>三省物産株式会社</p> <p>代表取締役会長 高階 達也</p> <p>代表取締役社長 森原 義明</p> <p>〒100-8339 東京都中央区日本橋一丁目三番二 電話 〇三(三三二七〇)五七二一</p>	<p>Shibaura Machine</p> <p>芝浦機械株式会社</p> <p>代表取締役社長 社長執行役員 最高経営責任者 最高執行責任者 坂元 繁友</p> <p>〒100-8503 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル4F TEL: 03-3509-0200 FAX: 03-3509-0333</p>	<p>ISO 9001登録企業 押出成形</p> <p>SKK 白石互業株式会社</p> <p>代表取締役社長 白石 創士</p> <p>〒136-0071 東京都江東区亀戸5-44-8 電話 (03) 3683-3301(代) FAX (03) 3683-3305 http://www.shiraishi-kk.co.jp</p>
<p>PS 新興化学</p> <p>代表取締役社長 小野寺 誠</p> <p>〒143-0012 東京都大田区大森東2-34-10 電話 03-3761-2078</p>	<p>新興産業株式会社 SANKO IND. CO., LTD.</p> <p>代表取締役 末川 清光</p> <p>〒343-0104 埼玉県北葛飾郡松伏町田島東1-17 TEL 048-991-6222</p>	<p>shinjo 株式会社 新上</p> <p>取締役会長 曾我部 大上</p> <p>代表取締役 曾我部 大上</p> <p>〒271-0841 千葉県柏市正連寺二丁目二番八 電話 〇四(七一一三三)〇四七一</p>

令和七年

暑中お見舞い申し上げます



令和七年

暑中お見舞い申し上げます



<p>STAR 株式会社スター精機</p> <p>代表取締役社長 塩谷 陽一</p> <p>〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133 電話 0587-95-7551 http://www.starseiki.com</p>	<p>Sodick 株式会社ソディック</p> <p>代表取締役 坏 祐次</p> <p>〒224-8522 横浜市都筑区仲町台 3-12-1 TEL : 045-942-3111 (大代) URL : www.sodick.co.jp</p>	<p> 2色成形の 株式会社 ダイテック</p> <p>代表取締役 伊藤 創</p> <p>〒370-1124 群馬県佐波郡玉村町角洲5206-3 TEL 0270-64-1819 FAX 0270-64-2014 E-mail h-ito@p-daitec.co.jp HP http://www.p-daitec.co.jp</p>
<p>電 話 〒134-0083 ○三(三六七五)二七三一四 東京都江戸川区中葛西七(二六)一四</p> <p>代表取締役 蓑輪 透</p> <p>拓水工業株式会社</p>	<p> CHIBA 業務用調理機器</p> <p>株式会社 千葉工業所</p> <p>代表取締役 長島 光敏</p> <p>〒273-0048 千葉県船橋市丸山4-53-14 ☎047-438-3411(代) FAX047-438-3413 e-mail:peels@chiba-ind.co.jp URL:http://www.chiba-ind.co.jp</p>	<p>TENSHO プラスチックの総合メーカー 天昇電気工業株式会社</p> <p>取締役会長 石川 忠彦</p> <p>〒154-0012 東京都世田谷区駒沢1-16-7 駒沢中村ビル4階 TEL 03-6805-2577 FAX 03-3487-2578 https://www.tensho-plastic.co.jp</p>
<p>FAX 〒300-0936 電話 ○〇二六(二二二六)一五六一六 ○二六(二二二六)六一一六</p> <p>会長 内山 三男</p> <p>長野県プラスチック工業会</p> <p>長野市大字中御所字岡田一三二一〇 長野県中小企業会館三階</p>	<p>再生ペレット製造・販売</p> <p> 株式会社 日豊化学</p> <p>専務取締役 樋口 政章</p> <p>〒130-0013 東京都墨田区錦糸2-12-1 日豊ビル TEL 03-6825-3081</p>	<p>日鋼YPK商事株式会社</p> <p>代表取締役社長 堤 洋一郎</p> <p>〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー 10階 電話 03(5745)2131 URL https://jsw-nyc.jp</p>
<p> 株式会社 日新化成</p> <p>代表取締役 早川 聖人</p> <p>〒331-0046 埼玉県さいたま市西区宮前町821番地 TEL 048-624-8450</p>	<p>役に立つ会社  NIPPLA</p> <p>創立1934年 (昭和9年)</p> <p>日本プラスチック工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 浅見 好邦</p> <p>本社 東京都荒川区荒川4丁目53番2号 〒116-0002 電話 03(3807)8651番(代表) http://www.nippla-web.co.jp</p>	<p> 株式会社 日本油機</p> <p>代表取締役社長 市川 博章</p> <p>〒252-0203 神奈川県相模原市中央区東淵野辺4-2-2 TEL 042-757-6681 FAX 042-757-6683 info@nihon-yuki.co.jp http://www.nihon-yuki.co.jp</p>

<p>電話 03-333-0801 〒333-0801 埼玉県川口市東川口四一三三四 〇四八(二一九一)一三五一</p> <p>HARMO 株式会社 ハーモ 濱 秀明 代表取締役社長</p>	<p>〒900-8157 福島県福島市蓬萊町一〇二二一</p> <p>福島県プラスチック工業会 会長 佐藤 正幸</p>	<p>電話 03-300-0808 〒300-0808 茨城県稲敷市幸田六七七 〇二九九(七九)一三三二四</p> <p>不二プラスチック株式会社 代表取締役 池下 龍一郎</p>
<p>古川化学工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 古川 雅一</p> <p>〒130-0024 東京都豊田区菊川二丁目十四番二号 電話 03 (3631) 6 6 5 5 番 03 (3634) 351-3 番 FAX 03 (3634) 3 5 5 4 番</p>	<p>フルブラ 株式会社フルブラ 代表取締役 矢後 史彦</p> <p>〒348-0038 埼玉県羽生市小松台2-705-16 TEL 048-562-2680</p>	<p>電話 03-590-0800 〒590-0800 東大阪市高井田本通り二二三十一 〇六(六七八二)一三八一</p> <p>株式会社 ホーライ 代表取締役 鈴木 雅之</p>
<p>MATSUI 株式会社 松井製作所 代表取締役 松井 宏信</p> <p>〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-4 新大崎勤業ビル9階 tel:03-5436-3521 fax:03-3495-5331 URL http://matsui.net</p>	<p>村上天堂 株式会社村上開明堂化成 代表取締役社長 石垣 昌之</p> <p>〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-7-1 有楽町電気ビル南館 3階 TEL 03-6273-4120</p>	<p>muratec 取締役営業本部長 花田 元生 ムラテックフロンティア株式会社</p> <p>本社 〒612-8686 京都市伏見区竹田向代町136 電話:075-672-8257 FAX:075-672-8307 東日本支店 〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町4-85-1 電話:048-649-6139 FAX:048-649-5123</p>
<p>プラスチック成形用金型設計・製作 明輝の金型 株式会社 明輝 代表取締役社長 黒柳 貴宏</p> <p>〒243-0807 神奈川県厚木市金田800 厚木工場 TEL 046-224-2251 〒243-0807 神奈川県厚木市金田1030 神奈川工場 TEL 046-224-1711 〒021-0922 岩手県一関市東台14-67 一関工場 TEL 0191-26-0775 海外工場 マレーシア・メキシコ・ タイ・アメリカ</p>	<p>山下電気株式会社 代表取締役社長 山下 慎一郎</p> <p>〒140-0004 東京都品川区南品川3-6-33 TEL (03) 3740-2401 URL: https://www.yamashita-denki.co.jp</p>	<p>PLASTICS WORLD YAMASO 増田 英輔 代表取締役社長 山宗株式会社 関東事業部</p> <p>東京都千代田区内神田2-15-2 内神田DNKビル6F 〒101-0047 TEL.03-5297-7987 FAX.03-5297-7979 http://www.yamaso.co.jp/</p>

令和七年

暑中お見舞い申し上げます



令和七年

暑中お見舞い申し上げます



 <p>YAMATO MOBILITY & MFG. ヤマトモビリティ& Mfg.株式会社</p> <p>代表取締役 重岡 幹生</p> <p>〒350-0001 埼玉県川越市大字古谷上4274 TEL 049-235-1234</p>	 <p>YUSHIN 株式会社</p> <p>代表取締役社長 小谷 高代</p> <p>■本社 〒601-8205 京都市南区久世殿城町555番地 電話 075(933)9555 FAX 075(934)4033 □東日本統括営業所 〒331-0811 さいたま市北区吉野町2-179-11 電話 048(665)2921 FAX 048(665)2927</p>	 <p>株式会社リーデンス</p> <p>代表取締役社長 肥後 武展</p> <p>本社 埼玉県入間郡三芳町大字北永井722 〒354-0044 電話 049 (259) 1161(代)</p>
<p>老後の安定した生活のために トープラ企業年金基金</p> <p>理事長 時田 周明 常務理事 江藤 清隆</p> <p>〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-5-13 東京ニットファッション健保会館2階 TEL 03-5809-1581</p>	<p>東プラ健保は加入員の健康づくりを推進しています。</p> <p> 東日本プラスチック健康保険組合</p> <p>理事長 小林 達夫 専務理事 佐藤 栄一 常務理事 森 秀樹</p> <p>〒111-0052 東京都台東区柳橋1-1-4 電話 03-3862-1051(代)</p>	<p>東日本プラスチック製品工業協同組合</p> <p>～今後とも、会員企業のお役に立つよう 下記の事業に積極的に取り組んでまいります～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種ユニフォーム・事務服等 ○ETC カード事業 ○PL 保険、団体生命保険 ○タオル斡旋、保存食、精米機他 <p>上記事業を一般社団法人東日本プラスチック製品工業協会と連携して実施しています。ご用命は下記へ。</p> <p>東日本プラスチック製品工業協同組合 代表理事 嶋田 修二 電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324</p>
<p>全日本プラスチック製品工業連合会</p> <p>会 長 原 直 宏 副 会 長 住 田 嘉 久 副 会 長 児 玉 康 彦 副 会 長 岩 崎 能 久 専務理事 笹 岡 健 治</p> <p>〒104-0045 東京都中央区築地3-12-5 (築地小山ビル1F) 電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324 URL https://www.jppf.gr.jp</p>		